

図書だより

11月

田原本町立北中学校
令和6年11月5日
第6号

1年生でもビブリオバトル!

1年生でもビブリオバトルが行われました! 初めてのビブリオバトルだったにも関わらず、しっかりと準備をして、決められた時間をきっちり使ってプレゼンしてくれたようです。すばらしい! 自分のお気に入りの本を、他の人も気に入ってくれたら嬉しいですね。同じ学年の仲間のお気に入りの本を、ぜひ読んでみてください。

読書の傾向は知らないうちに偏ってしまいます。でも、自分が知らなかった本を読むことで読書の幅が広がります。ぜひこの機会に、読書の幅を広げてください。

1年1組

雨穴さんの「変な家」は、2年生でもチャンプ本に選出されていました。よほど人気のようですね。この際、みなさんもぜひ読んでみてください。



「変な家」/雨穴(飛鳥新社)

知人が購入を検討している都内の中古一軒家。開放的で明るい内装の、ごくありふれた物件に思えたが、間取り図に「謎の空間」が存在していた。知り合いの設計士にその間取り図を見せると、この家は、そこかしこに「奇妙な違和感」が存在すると言う。

不可解な間取りの真相とは!?
突如消えた元住人は一体何者!?

「本を守ろうとする猫の話」/夏川 草介(小学館)

お前は、ただの物知りになりたいのか?」
夏木林太郎は、一介の高校生である。幼い頃に両親が離婚し、さらには母が若くして他界したため、小学校に上がる頃には祖父の家に引き取られた。以後はずっと祖父との二人暮らしだ。祖父は町の片隅で「夏木書店」という小さな古書店を営んでいる。その祖父が突然亡くなった。面識のなかった叔母に引き取られることになり本の整理をしていた林太郎は、書棚の奥で人間の言葉を話すトラネコと出会う。トラネコは、本を守るために林太郎の力を借りたいのだという。



「容疑者Xの献身」/東野 圭吾(文藝春秋)

運命の数式。命がけの純愛が生んだ犯罪。天才数学者でありながら不遇な日々を送っていた高校教師の石神は、一人娘の美里と暮らす隣人の花岡靖子に秘かな想いを寄せていた。ある日、靖子の前夫・富樫が母娘の居場所を突き止めて訪ねてきた。金を無心し、暴力をふるう富樫を、靖子と美里は殺してしまう。呆然とする二人を救うために、石神は完全犯罪を企てる。だが皮肉にも、石神と帝都大学の同期であり、親友である物理学者の湯川学がその謎に挑むことになる。

「魔女の旅人」/白石 定規(SBクリエイティブ)

あるところに旅の魔女がいました。彼女の名はイレイナ。旅人として、色々な国や人と出逢いながら、長い長い旅を続けています。魔法使いしか受け入れない国、筋肉が大好きな巨漢、死の淵で恋人の帰りを待つ青年、滅んでしまった国にひとり取り残された王女、そして魔女自身のこれまでとこれからのこと。わけのわからない可笑しな人や、誰かの美しい日常に触れながら、今日も今日とて魔女は出逢いと別れの物語を紡いでいきます。

「構わないでください。私、旅人なものですから。先を急がなければならないのです」

魔女。——そう、私です。



「生存者ゼロ」/安生 正(宝島社)

北海道根室半島沖の北太平洋に浮かぶ石油掘削基地で、職員全員が無残な死体となって発見された。救助に向かった陸上自衛官三等陸佐の廻田と、感染症学者の富樫博士らは、政府から被害拡大を阻止するよう命じられる。北海道本島でも同様の事件が起こり、彼らはある法則を見出すが……。未曾有の危機に立ち向かう! 壮大なスケールで「未知の恐怖」との闘いを描くパニック・スリラーです。

「また同じ夢を見ていた」/住野 よる(双葉文庫)

友達のいない少女、リストカットを繰り返す女子高生、アバズレと罵られる女性、一人静かに余生をおくる老女。彼女たちの“幸せ”は、どこにあるのか。

「やり直したい」ことがある、“今”がうまくいかない全ての人たちに贈る物語。



夏休みに1年生が読んだ本

あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。	俺たちの箱根駅伝
チーズはどこへ消えた?	13歳のきみと、戦国時代の「戦」の話しよう。
すずめの戸締まり	魔界の主役は我々だ!
宇宙人のいる教室	羅生門・鼻・芋粥
いつも幸せはそばにある	だから僕は大人になれない

1年2組



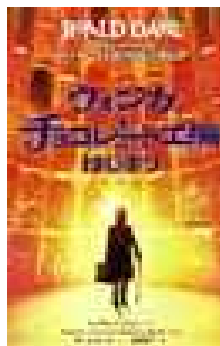
「歪みの国のアリス」／狐塚 冬里 (PHP研究所)

終わりの見えない廊下。誰もいない教室。すべての音が消えた街。夕暮れの迫る学校で目覚めた女子高生・葛木亜莉子(かつらぎありこ)が出会ったのは、「チェシャ猫」と名乗る、フードを目深に被った怪しげな人物だった。

「さあ、僕らのアリス。シロウサギを追いかけよう」

チェシャ猫に誘われ、妙なヒトやケモノたちが住まう「人の消えた世界」へ迷い込んだアリス=亜莉子は、元の世界に戻るために「シロウサギ」の行方を追うが——。やがて忘れられた真実と邂逅した時、新たな悲劇の幕が開く。その果てにアリスが見たものとは？

さあ、覚めることのない悪夢をあなたに——。



「ウォンカとチョコレート工場のはじまり」／シベアル・パウダー (評論社)

ロアルド・ダールの名作『チョコレート工場の秘密』に触発されて、映画『ウォンカとチョコレート工場のはじまり』が生まれました！本書はそのノベライズ版。「パディントン」で知られるポール・キング監督が構想を練り、脚本化したものを、イギリスの人気児童文学作家シベアル・パウダーが物語として書きあげました。チョコレート工場をつくる前の、若き日のウィリー・ウォンカの夢と冒険の日々を描きます。



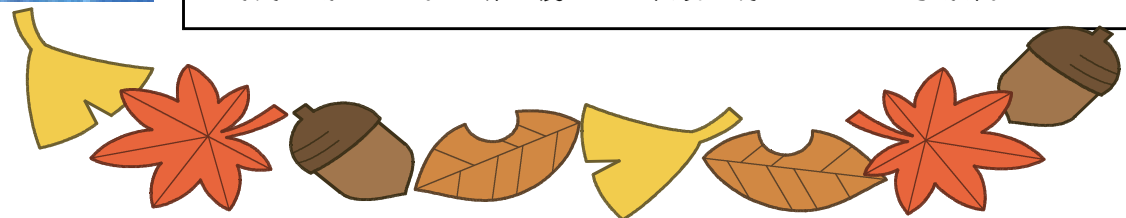
「響け！ ユーフォニアム」／武田 綾乃 (宝島社)

北宇治高校吹奏楽部は、過去には全国大会に出場したこともある強豪校だったが、顧問が変わってからは関西大会にも進めていない。しかし、新しく赴任した滝昇の厳しい指導のもと、生徒たちは着実に力をつけていった。実際はソロを巡っての争いや、勉強を優先し部活を辞める生徒も出てくるなど、波瀾万丈の毎日。そんななか、いよいよコンクールの日がやってくる——。少女たちの心の成長を描いた青春エンタメ小説。



「さよならごはんを今夜も君と」／汐見 夏衛 (幻冬舎)

学生はワンコインで食べられる夜食専門店。痩せて可愛くなりたい若葉、何を食べてもおしくない学年トップの小春、オーガニック料理だけで育った凌真……。悲しみや寂しさを少しずつ消化できるように、店主の朝日さんは愛情を込めた一皿をつくる。孤独な心に力が満ちて、止まっていた時間が動き出す。世界一優しいお夜食で再生していく感動作。



「変な家2」／雨穴 (飛鳥新社)

前作に続き、フリーライターの筆者と設計士・栗原のコンビが不可解な間取りの謎に挑む。

1 「行先のない廊下」 2 「闇をはぐくむ家」
 3 「林の中の水車小屋」 4 「ネズミ捕りの家」
 5 「そこにあった事故物件」 6 「再生の館」
 7 「おじさんの家」 8 「部屋をつなぐ糸電話」
 9 「殺人現場へ向かう足音」 10 「逃げられないアパート」
 11 「一度だけ現れた部屋」後編「栗原の推理」

すべての謎が一つにつながったとき、きっとあなたは戦慄する！

「傷だらけの僕らは、それでもいつか光をみつける」／汐見 夏衛 (スターツ出版)

自分に正直であること。それがいちばん正しい。そう思って過ごしてきた高校生の瑠璃。そんな生活が一変したのは、友達をさしおいてバスケット部の部長になってから。お弁当を持って逃げるように教室を出る日々心が折れそうになっていたとき、旧校舎の空き教室で、同じ学年の紺と出会う。彼は人前で話をするのが大の苦手でもほとんど背中を向けていたけれど、その言葉は誠実で瑠璃の心を癒してくれた。そして、嫌がらせがいよいよエスカレートしたその時——。大声をだして助けてくれたのは、あの紺だった。傷だらけのふたりは、よりそいながら…それぞれの方法で光をみつけていく。真っ暗な苦しみの中にいる人へ——今日を乗り越えるための物語。



夏休みに1年生が読んだ本

5分後に意外な結末ex白銀の世界に消えゆく記憶	君の名は。
インサイド・ヘッド	冥途・旅順入場式
交換ウソ日記	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。
ただいまの神様	ゼロ秒思考

10月の多読賞

順位	1年生	冊数	順位	2年生	冊数
1		9	1		28
2		3	2		13
3		2			4
		2	3		3
		2			2
		2	4		2
		2			2
		2			2

